

福岡市では、平成26年より、幼稚園、保育所、小学校、中学校、特別支援学校の代表委員の皆様、こども未来局、教育委員会の事務局で「保幼小中連絡協議会」を設置し、幼児期の教育のあり方や校種間の連携のあり方などを協議しています。

R7 第3回 2月24日の議題と内容



「横のつながり、縦のつながり、横と縦のつながり」

1. 本年度の取組の振り返り

■ 1月20日実施の保幼小接続担当者研修の感想、アンケート結果の共有

- ・研修内容満足度（肯定回答99.6%）
- ・子ども大切に育てたいという思いは共通。
- ・日常的な対話の時間を確保したいです。
- ・子どもの姿を見て対話することが、保幼小接続の一步であり、ギャップを埋める足場かけとなりました。

今回の研修は、「対話すれば見える」

「見ればつながる」という実感を生み出した貴重な機会となったようです。



■ 保幼小連携：連絡会の「質」を深める

保幼小連絡会が入学予定者の引き継ぎに留まらず、学校の経営方針や「スタートカリキュラム」について事前に話し合う場を設けている事例をご紹介いただきました。学校間の意識の差を埋めるため、さらなる横のつながりを強化する取組（管理職向け研修）を行います。

■ 小中連携：小学校を核としたネットワーク

小中学校間ではSSW（スクールソーシャルワーカー）を介した連携がスムーズに行われています。保幼と中学校が直接関わる機会は少ないものの、小学校が核となり、必要な情報はしっかりと共有されています。

■ 特別支援学校に通う児童生徒の居住地交流は、55.8%で実施。

■ 連絡体制の構築状況

アンケートの結果、対面での連携（43.8%）を筆頭に、管理職（15%）や教務担当間（10.7%）でのネットワーク作りが進んでいます。

2 次年度の取組、方向性について

- ・「福岡市の保幼小中連携の指針・手引き」の改訂を行っていきます。
- ・接続担当者研修を継続して行い、抽象度の高い内容から具体的な内容（カリキュラム検討・開発等）に着手できるようにしていきます。
- ・管理職向けの「短時間・研修動画」を配信し接続の重要性を理解できる環境を整えます。

